

ボランティアセンター 東日本大震災支援ニュース

2011年6月28日 No49

日本医療福祉生協連 近畿ブロック

発行担当 広島医療生協・屋敷
みやぎ県南医療生協 槻木事務所
連絡先 090-6056-8275

週末のボランティア入りに向け

支援要求掘り起こしに全力！！



↑ 町役場のりんごラジオ掲示板には応援メッセージが一杯！

昨日のニュース48号に載った山下駅近くのAさん(元住宅設備業)の自宅の現況を確認。(右の写真)泥や瓦礫は1階に散乱していますが、2階は無事。また家の建て付けも良く、柱なども大丈夫そう。ボランティアさんたちの力を借りれば再建の可能性も出てきます。「この地で自分も暮らし、街も復興させてゆきたい！」そのAさんの願いを支援するのはまさに医療生協の「明るいまちづくり」の原点のような気がしました。

週末の近畿地区からの大量ボランティア動員に向け、地域被災者の支援要求掘り起こしに連日回っています。今日は午前中、山下地区のIさん宅(学習塾経営)を訪問し7月2日(土)の作業の確認をしました。「この地で子供たちに勉強を教えたいんです！」と奥さん。泥出し、床張り、壁の補修等々…で学習塾再開の目途が立ちそう(^o^)
「本当にありがとう、よろしくお願いします」と、またひとつ希望の灯がともりました。

槻木のボランティアセンターには6月初めより長期支援の山口健文会の吉村理事、先週末より広島医療生協の屋敷組織部員、そして昨日よりヘルスコープおおさかの市川組員活動部課長が加わり、現在3人の体制。ひきつづきの支援派遣、全国の仲間のみなさんよろしくお願いします！！



空き地をひまわりでいっぱいにして！！



花釜地区のシーサイドタウンのNさんの奥さんは語ります。「行政はどうしても動きが遅い。私たちがして欲しいと思うこととの隙間を埋めてくれる医療生協ってありがたいと思う」と熱いエール！この団地内の住民が管理する公園が荒地となっていて「ここを整地して一面をひまわりの花でいっぱいになりたい！」とのお話しでした。

太陽に向かって力強く伸びるひまわり！この願い実現させたいものです。